

市民公開講座 中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を防ぐため、下記講座の開催を中止しております。

すこやか教室

生活習慣病教室

寺子屋あげちゅう

肝臓病教室

今後の開催予定は未定となっており、日程が決まり次第、再度お知らせいたします。
皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。
何卒ご容赦を賜りますようお願いいたします。

問い合わせ先 上尾中央総合病院 総務課
Tel: 048-773-1112 Fax: 048-773-7122
URL: <https://www.ach.or.jp>



高度な医療で愛し愛される病院

理念の実行方法

- 地域住民、地域医療機関と密着した医療
- 連携組織による24時間救急体制の実施
- 何人も平等に医療を受けられる病院
- 医療人としての自覚と技術向上のための教育
- 最新鋭医療機械導入による高度な医療
- 予防医学の推進に向けた健診業務

患者権利章典 患者さまの権利と義務

1. 医療を平等に受ける権利
2. 十分な説明を受ける権利（説明と同意および理解と選択の権利）
3. プライバシーが守られる権利（個人情報の保護）
4. カルテを知る権利（個人情報の開示）
5. セカンドオピニオンを受ける権利（情報収集の権利）
6. 良好で快適な環境で医療を受けられる権利
7. 健康教育を受ける権利
8. マナーや規則を守る義務
9. 自身の情報提供の義務
10. 権利章典を守る義務

臨床研修理念・基本方針

基本的診療能力を備え、
医療人としての品性と向上心を持ち、行動力、決断力、
コミュニケーション能力を有する医師を育成する。

- 救急総合診療科での救急研修（昼間および夜間での救急対応）、ならびに総合診療研修（病棟および外来）、離島・へき地での地域医療研修の3つの研修の柱とする。
- 各専門家研修においては、各科が扱う疾患の診療内容を理解し、基本的疾患の診療能力、各科へ適切に依頼する能力を習得する。
- 医療事故の未然防止と事後の対応法、および病院感染防止策を理解しマニュアルに従い行動できる能力を身につける。

編集後記

早いものでアウंकフルが100号目を迎えました。
今年は新型コロナウイルス感染症による生活様式の変更に加え長梅雨からの酷暑と、心身に堪えるできごとが多いですが、このような時だからこそ、皆さまに寄りそうアウंकフル、上尾中央総合病院でありたいと思います。

編集長 平田 一雄

UD FONT

※見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

〒362-8588 埼玉県上尾市柏座1-10-10 TEL048-773-1111（代）
<https://www.ach.or.jp>

上尾中央

検索

- 発行：上尾中央総合病院
- 発行人：徳永英吉
- 編集者：平田一雄
- 編集：広報部会
- 内容に関するお問い合わせは総務課広報係まで

文書番号 QJH005



あなたにげんきをおくりたい

上尾中央総合病院 広報誌

VOL.100

2020年9月発行

アウंकフル

アウंकフルとは、アイヌ語で『隣人』という意味です。
皆さまのよき隣人でありたいという思いを込め、創設者（現会長）中村秀夫の出身地、北海道にちなんで名づけました。



●100号の発行を迎えるにあたって

●あの編集員は今・・・！

●アウंकフル創刊時（2005年）からのあゆみ

●上尾中央総合病院の中にある北海道

●INFORMATION 9月

●市民公開講座 中止のお知らせ

100号の発行を迎えるにあたって

上尾中央総合病院院外広報誌「アウングル」は、2020年9月号で100号を迎えることができました。今まで多くの方にお読みいただきましたこと厚く御礼申し上げます。これもひとえに地域の皆さまのご支援によるものと深く感謝しております。

「アウングル」とはアイヌ語で「隣人」という意味です。上尾中央総合病院は、いつでも地域住民の皆様の隣にいますという意味を込めて命名いたしました。月日が経ち、100号をむかえることができた現在も、その思いに変わりはございません。

私たちは、地域の病院・診療所などとの連携を一層密にし、より良い医療サービスを皆さまに引き続き提供して参りたいと考えております。

これからも、「アウングル」では、皆さまの健康に役立つ情報を発信して参ります。今後ともどうぞ、よろしくお願いいたします。

あの編集員は今・・・！



上尾中央総合病院
院長 徳永英吉
(元 広報委員)

院外広報誌「アウングル」は、地域の保健・医療・福祉施設などに自院の診療機能に関する情報を提供し、地域との繋がりを強化し、病診病連携の推進を計るために2005年に発刊いたしました。

当時の紹介件数は月平均871件、逆紹介件数は月平均566件でしたが、昨年度（2019年度）の紹介件数は平均2273件と約3倍に、逆紹介件数に至っては平均2028件と約4倍になっています。この数字は「アウングル」が少なからず、その役割を果たしてきたものと考えています。

15年間で「アウングル」にて紹介された当院の活動の多くは、今も途切れることなく続いており、今後も発展させていきたいと考えています。今後も「アウングル」を通じて、地域の皆様への適切な情報提供を行っていきよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



理事長 中村康彦

「アウングル」創刊100号おめでとうございます。

創刊から約15年間地域の患者さんや医療関係者の方々に支えられながらこの記念すべき100号の発行となったことを祝し、また、皆さまへ感謝のご挨拶を申し上げます。

このアウングルの創刊当手を振り返ってみますと、国として、地域住民の方々に安心した医療・介護の提供を行うべく、病院、診療所、介護サービスなどを一貫させた地域医療連携を推進し始めた時期だったと記憶しています。これが、現在では当たり前となりつつある「地域包括ケアシステム」という言葉になりました。この頃、上尾中央総合病院でも、上尾市をはじめとする地域の先生方との密な連携から、さらなる地域医療の質の向上を進めていきたい思いで創刊号より開業医の先生方にも記事掲載にご協力をいただいております。今後の超高齢化社会を迎える中で、医療・介護に関する有益な情報発信がますます求められる時代になっておりますので、引き続き、どうぞ、よろしくお願いいたします。



あげお在宅医療クリニック
院長 宮内邦浩
(元 広報委員長)

アウングル100号おめでとうございます。創刊当時、情報管理委員会内に広報部会があり委員長を拝命していました。各職種が集まって広報誌を作っていました。2005年12月に創刊号が出ていますので15年も前の事になります。院内広報誌やすこやか教室などもこの頃から動き出しておりメンバーの方々には大変お世話になった事を記憶しています。

私は6年前に上尾中央総合病院を退職し、在宅医療を提供するあげお在宅医療クリニックを開業しています。通院が難しくなった方や自宅で人生の最期を過ごされたい方の医療支援を行っています。患者さん方の自宅での生活は病院でのそれとはまったく違うことを日々感じる毎日です。

アウングル200号を目指して頑張ってください。



上尾中央医科グループ協議会
総局長 久保田巧
(元 広報委員)

アウングル創刊時（2005年）からのあゆみ

職員数		2005年	2020年
全 体		1,189人	2,371人
医 師		106人	267人
看護師		511人	947人
臨床検査技師		12人	99人
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士		73人	200人
管理栄養士		6人	19人
事 務		214人	341人

(ともに4月末日現在)

病院全体の職員数は、この15年で約**2倍**になりました。
それぞれの職種において、時代背景や院内での役割が変わることで人員を拡充してきました。
今後もよりよい医療の提供の実現に向けて“成長”してまいります。



上尾中央総合病院の中にある北海道

当院の創立者（現会長）中村秀夫は、北海道瀬棚町（現久遠郡せたな町）の出身です。院外広報誌「アウングル」以外にも、当院には北海道にちなんだもの、アイヌ語で命名したのがあります。

職員向けに年4回発行されている広報誌は『ピリカ』といいます。これは美しい、正しい、栄える、可愛いといった意味があります。

またD館1階にありますレストランの名前は『ゆーらっぱ』といいます。これは北海道にある「遊楽部岳」「遊楽部川」から取った名前で、「ゆー（温泉）らっぱ（下りる）」という意味です。温泉は神様の優しい心のおぼしめしであると考えられていたことから「優しい心」と解釈されます。

